

どこの場所か、分かるかな？当ててみよう！！

指導案

ごあいさつ

日本の国を好きになる、誇りに思う心を育む授業内容として「日本のものづくり」をテーマにとりあげることがあります。例えば私たちの身近にある「新幹線」には、世界に誇る日本のものづくり技術がたくさん取り入れられています。日本の新幹線は世界中で注目されており、その技術は海外にも輸出されています。このような日本のものづくり技術を子どもに伝えるのは教師の大切な仕事です。

子どもたちが大好きな「新幹線」、その仕組みや技術、働く人々などについて楽しく学ばせたいと思います。日々の授業で是非、ご活用ください。

TOSS 代表 向山洋一

【3】新幹線と地理 テキスト302
「どこの場所か、分かるかな？当ててみよう！」
対象学年：小学4・5・6年生（1時間）

1. 学習のねらい

- ①東海道新幹線沿線の景色を調べることにより、走っている場所に興味をもつ。
- ②東海道新幹線がどこを走っているのかを調べることにより、広がりを知る。
- ③一枚の写真を読み取り方を学ぶ。

2. 準備するもの

テキスト児童数分 筆記用具 指導案1部

3. 展開

①どこの場所か、当ててみよう！！

一枚の写真からその場所を当てる授業である。
子ども達が熱中し、「またやろう！」のアンコールがかかる。

まず、一枚の写真を見せる。本テキストの場合、②の写真がわかりやすい。



指示1 この写真を見て、わかったこと、気づいたこと、思ったことを発表してごらん下さい。

富士山だろう、新幹線が走っている、静岡かな、など全ての発表を認めてほめる。

指示2 どこだと思いますか。第一候補から第三候補まで予想して、テキストの4ページに書きなさい。第一予想で当たれば100点、第二予想だと50点、第三予想だと30点です。

各自にテキストに書かせる。

		理由	
②	第一候補	_____	_____
		_____	_____
第二候補	_____	_____	_____
		_____	_____
第三候補	_____	_____	_____
		_____	_____

基本は「都府県名」か、その先の市町村名を書かせる。

写真によっては、「新宿」「釧路港」「鳥取砂丘」のように書かせる。

例えば 第一予想 山梨県
第二予想 静岡県
第三予想 神奈川県 のようになる。

もちろん、地図帳や教科書を見て考えていい。

指示3 3～4人組みでチームを作って、チームごとに検討しなさい。

チームとしての予想を黒板に書きなさい。

ここでも第三予想までかかせる。

チーム内の意見が不統一でも、チームとしての予想を書かせる。

指示4 予想の根拠を発表しなさい。

自由に発言させればいい。

大切な発言は、地図帳等で、全員に確認させる。

ここが学習としては大切である

正解を発表して、チームの得点、個人の得点を確認する。

②どこか場所か答えと理由を書いてみよう！

次の写真に進む。(※わかったこと、気づいたこと、思ったことの発表は省略して良い。)

指示5 どこだと思いますか。

第一候補から第三候補まで予想して、テキストの4ページに書きなさい。

この後の展開は、一枚目の写真のときと同じ。

指示6 何点だったかな？テキスト6ページを開いて、点数を書きましょう。

指示7 4つの場所をそれぞれ地図帳で確認しましょう。

1位から3位まで予想させ、得点に差があるので、子どもがのってくる。
ただし、知識にはかなりの個人差がある。
グループで協議させ、個々のテキストに書かせるのが、始めのうちはいい。
また言うまでもなく、出題する写真は「易」から「難」へ進める。
いきなり難しい問題では盛り上がらない。
また、地図帳や教科書を見る時間がある程度保証するのも大切だ。
「場所当て」の学習は、写真と同時に、地図読み取りの学習なのだ。
予想とともにその根拠を発表させる。すると、「読み取りのコツ」が他者に波及する。

③自分で問題を作って、調べてみよう！！

課題 4つの写真から1つ選び、それに関する問題を自分で作って、調べてみましょう。

(例) 写真 : ①

	問 題	調べ方
1	新幹線の名前は何ですか。	図鑑、インターネット
2	どんな仕事をしていますか。	図鑑、インターネット

問題を作ったら「答え」まで確定させるようにする。
それぞれに完成した問題を発表させて、答えを予想させる。
問題集などを作って、クラス全員で解いていくという方法もある。